

2018年(平成30年)8月21日(火曜日)

## 三島駅南口東街区再開発



# 市が急ぎよ 説明会

## 情報開示不十分と指摘受け

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業に関する市主催の説明会が十九日夜、同市一番町の三島市民文化会館であり、四百人余りが参加した。市の財政見通しや、市が事業協力者らと結ぶ協定書案などに関しても活発な質疑応答が行われた。

(佐久間博康)

市が六日に市議を対象に協定書案について説明した際、市民への情報開示が不十分と指摘されたことを受け、急ぎよ開催した。会場

の小ホールが三百五十人収容だったため、入りきれなかつた五十人余りはホールの外で説明に耳を傾けた。

豊岡武士市長が再開発事業の経過や市民からの懸念が強い地下水保全対策を紹介する

説明会で参加者からの質問に答える市幹部=三島市一番町の三島市民文化会館で

介し、「少子高齢化が進む中、民間の力を借りて市に投資が生まれるようにすることが重要だ」と訴えた。市駅周辺整備推進課職員が再開発事業の概要や、協定書案の内容を解説した。

質疑応答では、豊岡市長ら市幹部が登壇。市が負担する六十億円を回収するめどについては「年間一億円程度の税収を見込み、三十年でもとはとれる」と回答した。市民の意見を反映する方法では「大規模な説明会やミニ集会を開き、細かく聞きたい」と応じた。

十一月の市長選の結果によって事業を中止する場合に協定が解除できなかつたり、市に違約金が発生した批判したり、再開発の撤回を求める意見には、反対派から「そうだー」という声や拍手が上がった。

## 協定書案 市「中止でも違約金ない」